

## 令和2年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	70	学校名(課程)	蘇南 高等学校(全日制)
------	----	---------	--------------

## 1 全体目標

○ 一人一人の社会的・職業的自立に向け、コミュニケーション能力や探究力、課題解決の能力と態度を育てる

## 2 現状・課題

地域人材の活用や対話を通じて、より実践的な知識と技術を身に付け、将来、地域を担う人材を育成したい。また、地域連携や他教科との連携を積極的に実践し、カリキュラムマネジメントの観点に立ち、授業を研究していきたいと考えている。

## 3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。  
学校で言い換えた力でもよい。

- a 自ら課題を見つけ探究し、それを解決する力
- b 情報の収集・整理の方法を獲得し、それを表現する力
- c 協調性とコミュニケーション能力
- d 進路情勢の研究・受験先の決定・進路実現を図るための実践力

## 4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 基本的な生活習慣(身だしなみ, 挨拶, 清掃, マナー等)の確立を図る。〈②〉 イ 「産業社会と人間」をとおして地域や社会を知るとともに、職業観やコミュニケーション能力・探究力を育成し、職業の社会的意義を理解する。〈②, ③〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 自ら課題を設定し、計画・準備・調査・発表(実習)・記録・反省(評価)のサイクルで活動することを通して、自ら学んでいくノウハウを身につける。〈②〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 研究の成果を発表することで協調性とコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育成する。〈②〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	オ 各自の描いた未来設計・進路目標を実現するための具体的道筋を明らかにし、進路の実現を図る。〈①, ④〉
⑤	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・思考力、表現力を育成するための授業改善(全学年) ・各種検定合格、資格取得のためのガイダンスや補習
総合的な探究の時間	・各自が決めたテーマに沿って研究し、発表会でプレゼンテーションを行い、論文にまとめる。
特別活動	・進路別ガイダンスの実施 ・卒業生懇談会の実施(卒業生を招いて、在校生との懇談会を行う)
校外の体験活動(就業体験活動等)	・キャリア・チャレンジ・プログラム(希望者, 1~3年) ・オープンキャンパス ・WEB インターンシップ(1年)
地域や産業界等との連携	・ 信州学(1年) ・販売実習(2年) ・パソコン先生(2年) ・総合研究(3年)
評価	・レポート、課題等の提出状況 ・校内アンケートの実施 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携(指導の継続性)	・総合研究発表会に中学校の教員を招待 ・学校説明会の実施(キャリア教育について説明)
校内の推進体制	・総合学科推進係5名(総合学科主任, 各学年担当4名) ・進路指導係7名(進路指導主事, 進学担当, 就職担当)
キャリア・パスポートの取組	・教科横断型授業の推進 ・Classiによるポートフォリオ

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	○自己理解 ○職業理解, 社会認識 ○進路を見据えた科目選択	○コミュニケーション能力を身につける ○進路活動を通じて進路意識を高める ○進路実現のための科目選択	○課題解決能力の育成 ○プレゼンテーション力の育成 ○進路実現
主な取組	○自分史(過去編)執筆 ○働くことについて考える ○クエストエデュケーションプログラム	○ライフプラン作成 ○新聞を通じて社会とのつながりを知る ○進路探究活動(先輩と語る会・講演会)	○総合研究 ○進路実現に向けた個別指導
評価	・生徒意識調査(県教委) ・「産社と人間」アンケート、授業評価	・生徒意識調査(県教委) ・「産社と人間」アンケート、授業評価	・生徒意識調査(県教委) ・総合学科アンケート、授業評価

年間指導計画と各取組の関連

\*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動等	その他(面接・評価等)
1 年	(記入例)・共生社会と福祉(家庭) ・ともに生きる社会を 目指して(公民)	福祉社会における私たちの役割 を考える □特別養護老人ホーム訪問(交流)	特別養護老人ホーム訪問に向けて (講話及びホームルーム活動)	ポートフォリオを用いた自己 評価
	4 産業社会と人間 シラバス説明・オリエンテーション 自分史の執筆 7 系列説明会・模擬授業	自分史(過去編)作成を通じて、自己 理解を深め、自分と向き合う 系列説明及び模擬授業をつづじて将来 について考える	オリエンテーション 基礎力診断テスト 蘇峽祭(文化祭)	生活実態調査 個人面談 三者懇談会
	夏 進学補習 各種講習会	課外活動や各種補習授業を通して、自 分の将来について考えるとともに自己理 解を深める機会とする。	□キャリア・チャレンジ・プログラム □オープンキャンパス参加 □看護師体験	
	9 系列選択 (文理・ビジネス・ものづくり) 科目選択説明会 10 系列別授業 科目選択説明会 ・産業社会と人間 企業探究プログラム	講演会を通じて、社会や大人の様々な 考え方に触れ、自身の将来について考 える。上級生との対話を通じて、将来の 自分を見つめるとともに、2年次の科 目選択について考える。 クエストエデュケーションプログラムを 通じて企業課題について考え、提案する	進路別ガイダンス 人権講演会 合唱コンクール	授業評価 生徒意識調査(県教委) レポート・発表等を含めた総 合評価 三者懇談会
	1 「産業社会と人間」学習発表会	発表会を通じ、課題解決能力及び表現 力を養う。		個人面談 レポート・発表等による総合 評価 授業評価・授業アンケート
	3 産業社会と人間(信州学) 働くとは何か(仕事)について考える	働くことについて考え将来の進路選択の 一助とする。	卒業生懇談会	
	春 進学補習 各種講習会	補習及び各種講習会を通じて、進路実 現に向けた学力向上を目指す	□オープンキャンパス参加 学習合宿	
2 年	4 シラバス説明 ライフプランを考える	自身の将来におけるイベントを考え、収 入支出の両面とあわせてライフプランを 考える。	基礎力診断及びスタディサポート 蘇峽祭(文化祭)	個人面談 三者懇談会
	7 新聞から社会を知る	新聞の見方、まとめ方を通じて、社会に 目を向け、社会とのつながりについて考 える。		
	夏 進学補習 各種講習会	補習及び各種講習会を通じて、進路実 現に向けた学力向上を目指す	□オープンキャンパス参加 □看護師体験	
	9 科目選択 11・マーケティング・課題研究 (経営ビジネス系列) 販売実習	自分の進路スケジュールを作成し、進路 活動への意識を高める。 3年次科目選択 地域社会との対話や触れあいを通じて、 社会参画への意識を高める。	進路別ガイダンス 人権講演会 合唱コンクール	レポートや発表等による総合 評価 授業評価 生徒意識調査(県教委)
	12 1・マーケティング・課題研究 (経営ビジネス系列) スローフードフェスタ参加 産業社会と人間 主体的な学習・伝えることの重要性	地域課題を自分ごととして考え取り組 み、地域社会へ貢献するとともに、対話 や触れあいを通じて社会への参画意識 を高める。 総合研究のテーマについて考える。 卒業生との対話を通じて、将来の進路選 択の一助とする。		三者懇談会 個人面談
	3 春 進学補習 各種講習会	補習及び各種講習会を通じて、進路実 現に向けた学力向上を目指す	卒業生懇談会 □オープンキャンパス参加 海外語学研修	レポートや発表等による総合 評価 授業評価・授業アンケート

3 年	4・総合的な学習の時間 総合研究 7 研究活動(個人・グループ)	「総合研究」テーマ決め、研究活動に取り組む。(個人またはグループ)	蘇峽祭(文化祭) 研究概要発表	個人面談 三者懇談会
	夏 進学補習 休 各種講習会	補習及び各種講習会を通じて、進路実現に向けた学力向上を目指す	キャリア・チャレンジ・プログラム オープンキャンパス参加 学習合宿	
	9・地域人材の活用 美術「ろくろ細工」 ・家庭科「保育園実習」 ・総合研究 研究活動・まとめ(一次データ)	伝統工芸に触れることで、地域についての理解を深める。 保育実習を通じて、子どもの発達や子どもの支援について理解を深める。	合唱コンクール	生徒意識調査(県教委)  記録ノート、取り組み姿勢、レポート等による総合評価 授業評価
	11 「総合研究」中間発表会 (学年発表会) 12 総合研究発表会(全体発表会)	課題解決力及び表現力を身につける。		三者懇談会
	1 「総合研究」卒業論文制作 3	1年間の研究成果をまとめることで、知識理解を深める。		個人面談 記録ノート、取り組み姿勢、レポート等による総合評価 総合学科アンケート 授業評価